

②化学物質等の安全性情報に関するポータルサイト・リンク集			
情報	提供機関	URL	概要
化学物質の安全対策ホームページ	厚生労働省医薬食品局化学物質安全対策室	http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/seikatu/kagaku/index.html	【化学物質】厚労省の毒劇物対策、家庭用品の安全対策、室内空気汚染対策、その他化学物質の安全対策等の情報
化学物質に関する情報	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部	http://www.nihs.go.jp/hse/chemical/index.html	【化学物質】IPCS(国際化学物質安全性計画)のドキュメント類の日本語版、化学物質関連の法律、健康危機管理情報など化学物質関連情報のポータルサイト
食品安全情報	厚生労働省医薬食品局食品安全部	http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/index.html	【食品】厚生労働省の食品に関する施策(食中毒、BSE、食品添加物、残留農薬、輸入食品監視、遺伝子組換え食品ほか)について、すべてこのサイトにまとめられている。
食品に関する情報	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部	http://www.nihs.go.jp/hse/food-info/index.html	【食品】「食品安全情報」、厚労省の最新のお知らせ、食品中の化学物質や微生物に関する情報やリンク集など食品関連情報のポータルサイト
「健康食品」の安全性・有効性情報	(独)国立健康・栄養研究所	http://hfnet.nih.go.jp/	【食品】健康食品等の安全性・有効性に関する情報
くらしの安全情報—食品の安全・安心	東京都	http://www.anzen.metro.tokyo.jp/f_food.html	【食品】東京都の食品衛生関連情報(食中毒発生状況、食品添加物、遺伝子組換え食品、その他)全般
(財)日本食品化学研究振興財団	厚生労働省食品化学情報	http://www.ffcr.or.jp/zaidan/FFCRHOME.nsf/pages/info.mhw	【食品】食品添加物、香料、残留農薬、動物用医薬品などの成分規格や基準等に関する情報
医薬品に関する情報	国立医薬品食品衛生研究所安全情報部	http://www.nihs.go.jp/dig/jindex.html	【医薬品】「医薬品安全性情報」、医薬品情報ガイドなど医薬品関連情報のポータルサイト
医薬品医療機器情報提供ホームページ	医薬品医療機器総合機構	http://www.info.pmda.go.jp/	【医薬品】添付文書情報、緊急安全情報、症例情報など

資料1 国内外の主な健康危機管理関連情報サイト(化学物質分野を中心に)(平成17年度分担研究報告(山本都)より)

IPCS INCHEM	WHO(世界保健機関)	http://www.inchem.org/	【化学物質】化学物質の安全性に係わる国際機関から提供されている各種の化学物質安全性情報がまとめて収載されているポータルサイト。EHC、CICAD、ICSC、JECFAやJMPPRの評価報告書、PIMs(中毒情報)
INTOX Programme	WHO(世界保健機関)	http://www.who.int/ipcs/poisons/intox/en/	【化学物質】世界各国の中毒センターなど化学物質による中毒に係わる機関が参加しているプロジェクト。INTOXメーリングリストでは、世界各国の中毒情報に関するやり取りが行われている。
Chemical Safety	OECD(経済協力開発機構)	http://www.oecd.org/department/0,2688,en_2649_34365_1_1_1_1_1,00.html	【化学物質】OECDの化学物質部門の情報サイト
NLM トップページ	NLM(米国国立医学図書館)	http://www.nlm.nih.gov/index.html	【化学物質】NLMから提供されている情報は非常に多いため、各情報への入り口も多い。NLM提供情報の全体を把握するためには、NLMトップページのサイトマップやNLMリスト及び情報源リストを見ておくと理解しやすい。
NLM ToxSeek	NLM(米国国立医学図書館)	http://toxseek.nlm.nih.gov/	【化学物質】NLMが提供している数多くのデータベースをはじめ、米国機関や国際機関の化学物質関連情報サイト等を同時に検索できるシステム
International Portal on Food Safety, Animal & Plant Health(食品の安全性、動物及び植物の衛生に関する国際ポータルサイト)	FAO(国連食糧農業機関)	http://www.ipfsaph.org/En/default.jsp	【食品】食品安全、動物・植物衛生に関する国際基準に係わる機関との協力のもとにFAOが構築したポータルサイト。残留農薬や動物用医薬品のMRL(最大残留基準)、各種ガイドラインやマニュアル、規制・通知・協定などの文書等が収載されている。2005年3月に更新版(Ver.2.0)が出た。
FAOSTAT	FAO(国連食糧農業機関)	http://apps.fao.org/default.jsp	【食品】FAO統計データベース。農薬や動物用医薬品と食品からMRLを検索できる。
Food Safety Gov	米国政府	http://www.foodsafety.gov/	【食品】米国食品医薬品局(FDA)、農務省など政府機関から提供される食品関連情報のポータルサイト

【表 1】

(1) 緊急時の対応に関する情報

(1)-1 テロ発生時等の最初の数時間の対応 (米国 CDC)
Communicating in the First Hours:Initial Communication With the Public During a Potential Terrorism Event
http://www.bt.cdc.gov/firsthours/
米国保健省と CDC が、セントルイス大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、オクラホマ大学、アラバマ大学 (バーミングハム) の 4 大学と共同で作成した資料。テロ等発生時の最初の数時間に保健部局の担当者が国民に迅速かつ的確に情報を伝えるための資料がまとめられている。生物剤 (炭疽、ボツリヌス、天然痘など)、化学剤 (びらん剤、神経剤、窒息剤など)、核兵器、ダーティボム、自爆テロなど対象事案ごとの国民向け情報、テロ攻撃後数時間以内の国民に向けたラジオ放送原稿、主要な関連機関の web サイトなどが緊急時に備えあらかじめ用意されており、緊急事態発生時にすぐ示すことができるようになっている。
(1)-2 テロその他緊急時情報に関するメディア向けガイド (米国保健省)
Terrorism and Other Public Health Emergencies: A Reference Guide for Media
http://www.hhs.gov/emergency/mediaguide/PDF/
生物剤、化学剤、放射性物質、食品テロ等の情報の他に、政府機関の役割、国民の反応、メディアの対応などが記載されている。メディアがこうした情報の内容を十分理解し、緊急時に科学的で的確な報道を行うための一助となることを目的としている。さまざまな角度からの情報が総合的にわかりやすくまとめられている。 メディア向けガイドの他に、対応にあたるリーダーや現場対応者向けガイドも準備中とされている。
(1)-3 有害化学物質流出により大量被災者が発生した際の患者を最初に受け入れる医療機関の対応 (OSHA : 米国労働省労働安全衛生局)
OSHA Best Practices for Hospital-Based First Receivers of Victims from Mass Casualty Incidents Involving the Release of Hazardous Substances (January 2005)
http://www.osha.gov/dts/osta/bestpractices/firstreceivers_hospital.pdf
有毒物質の放出などで多数の傷病者が出た時に、被害者を受け入れる病院の First Receivers の対応について、ベストプラクティス (最も効果的な実践方法) をまとめた資

料。事故・事件現場で対応する救急隊員などの **First responder** に対し、現場から離れた場所（病院など）で汚染した多数の被害者を受け入れる病院関係者などを **First Receivers** と定義付けしている。**First Receivers** は **First responder** と異なり暴露源は一般に被害者の皮膚、髪の毛、衣服等に付いた化学物質に限られるものの、大事故・事件発生の際にはほとんど何のウォーニングもないうちに多くの被害者が来院したり、原因物質についてすぐには情報がほとんどない状態のことも多く、また自分で来院できる多数の被害者（被害者総数の約80%にもものぼる）は病院に来る前に除染をしていないので、こうした状況に対応するための **PPE**（個人保護具）、除染ゾーン、トレーニングなどを詳しく説明している。

(1)-4 化学物質攻撃への対処に関する一般向けの情報とガイドライン（EU）

Responding to chemical threats. General information and guidelines for the public

http://europa.eu.int/comm/health/ph_threats/Bioterrorisme/chem_guidelines_en.htm

化学物質が意図的に放出された際の対処に関する一般向け情報やガイドラインが記載されている。これらの情報は意図的放出による場合のみならず、事故で化学物質が放出された場合にも有用である。

- ・ 全般的な情報
- ・ 攻撃や事件が発生したことを示す兆候
- ・ 攻撃があった場合どうすればよいか
- ・ 化学物質に接触した場合どうすればよいか
- ・ EU各国の情報提供サイト
- ・ その他の準備&対処関連 web サイト
- ・ EU各国の中毒情報センターのリスト

(1)-5 国民向けの緊急時対応に関する情報（米国連邦政府）

Ready: Prepare, Plan, Stay Informed

<http://www.ready.gov/index.html>

国民向けの緊急時対応のための情報をまとめて提供している。普段から準備しておくべきもの（水、食品、救急セット、ダストマスク、雑貨用品などについての内容や量）や緊急時のための国民レベルでの計画（連絡先確認、緊急時の家族の連絡方法等）が記載されている。また、地震、ハリケーン、爆発、火災、洪水、火山噴火、津波、熱波、化学剤・生物剤・核攻撃、新型インフルエンザなど状況別に、発生時の対応について説明されている。

(1)-6 国民向けの緊急時対応に関する情報 (米国連邦政府)

Are You Ready ?

http://www.citizencorps.gov/ready/cc_pubs.shtm

国民向けの緊急時対応のための情報についての全般的情報、出版物、研究、Q&Aなどが掲載されている。

(2) 演習及びトレーニングなどに関する情報

(2)-1 PHTN : 公衆衛生教育ネットワーク/米国 CDC

Public Health Training Network

<http://www2.cdc.gov/phtn/>

web を利用したトレーニングコース。PHTN サイトには、RealPlayer 等を利用した動画画面、画面のスク립ト (Word や Html ファイル)、プレゼンテーション教材 (パワーポイントや pdf ファイル) が掲載されている。

感染症関係のテーマが圧倒的に多いが、化学物質関係のテーマを中心に以下に示した。

2006 年

- ・ 緊急時のための準備と対応に関するカトリーナからの教訓
- ・ カトリーナ後の将来に向けたより良い公衆衛生システムの構築
- ・ 生物剤ボツリヌス毒素の医療対処に関する進歩

2005 年

- ・ 核及び放射性物質テロ発生時の公衆衛生の役割
- ・ 食品を介した化学物質による消化器系疾病の認知
- ・ ファーストリスポンダーの災害対応後のストレス

2004 年

- ・ 核及び放射性物質テロへの医療対処
- ・ 化学物質への暴露に関連した疾病の認識 (Recognition)

2003 年

- ・ リシンに関連した疾病の認識、管理及びサーベイランス
- ・ SARS : 世界的なアウトブレイクが家庭を襲った場合
- ・ その他、SARS 関連のテーマ多数

(2)-2 ビデオ：生物テロの歴史（米国 CDC）
Video: "The History of Bioterrorism"
http://www.bt.cdc.gov/training/historyofbt/
炭疽、ペスト、天然痘、ボツリヌス、ウィルス性出血熱、ツラレミアなどの歴史について、RealPlayer や Windows Media Player 等を利用し映像で紹介している。

(2)-3 公衆衛生上の緊急時対応のための演習キット（コロンビア大学）
Public Health Emergency Exercise Toolkit June 2006, Columbia University
http://www.cumc.columbia.edu/dept/nursing/research/ResCenters/chphsr/pdf/PublicHealthBooklet_060803.pdf
<p>コロンビア大学が作成した演習プログラムで、地方の公衆衛生担当部局が緊急時対応のための訓練や演習を実施し評価するためのガイド。演習の目的に沿った企画の作成や有意義な演習後評価のための重要な確認事項などが記載されている。CDC の支援で実施され、国土安全保障省などの関連機関が推奨しているアプローチに準じている。</p> <p>主な内容</p> <p>演習の種類</p> <p>A. 議論ベースの演習（Discussion-based Exercises）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション演習（ワークショップやセミナー） <p>新スタッフにその機関の緊急対応プランの説明をしたり、新スタッフと経験を積んだスタッフ間での情報交換等を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルトップ演習（机上演習、図上演習） <p>模擬的な状況を設定し、問題解決のための方策や意思決定プロセスなど個々のテーマについて詳細に議論する。実際の訓練に比べ遅いペースで議論を進める。演習の目的は、問題解決に向けた建設的議論である。通常シナリオを用意し、また対象となる事案はその機関等にとって現実的なものとする。</p> <p>B. 行動ベースの演習（Operations-based Exercises）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地演習（Drill） <p>要員教育、対応時間、作業能力や装備の能力などを試験するために実地で訓練する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能演習（Functional Exercise） <p>緊急対応システムなど機能的な部分の能力を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルスケール演習（Full-scale Exercise） <p>緊急行動計画全般における主要な部分の試験及び評価を行う。</p> <p>この他、シナリオ作成、評価計画の作成、演習用資料の作成、演習の実施などの項目ごとのガイド及びチェックリスト様式、演習計画用テンプレートなどが記載されている。</p>

(2)-4 トレーニングや演習：病院など医療施設の机上演習用ツールキット（ニューヨーク市保健精神衛生局、NYC DOHMH）
Trainings, Drills & Exercises: Hospital and Primary Care Centers Tabletop Toolkit
http://www.nyc.gov/html/doh/html/bhpp/bhpp-train-hospital.shtml
生物テロなど緊急事態発生時におけるニューヨーク市の保健医療関係システムの対応能力の向上及び現時点のシステムで不十分な部分を明らかにするため、NYC保健精神衛生局は2004～2005年にスタッフの訓練・演習のためのツールキットを開発した。このツールキットはニューヨーク市の10病院及び5プライマリーケアセンターで試され、スタッフの訓練と生物剤等に対する施設の準備状況の評価に重要なリソースであることが示された。今後、状況に応じてそれに追加・更新される。現在、このツールキットには、演習の計画、実施、評価、5つのシナリオ（ペスト、SARS、炭疽、天然痘、新型インフルエンザ、プライマリーケアセンターでの新型インフルエンザ）が含まれており、本サイトからダウンロードできる。

(2)-5 化学テロ及び化学物質による緊急時対処（ミシガン大学公衆衛生学部）
Public Health Response to Chemical Terrorism and Chemical Emergencies
http://www.sph.umich.edu/micphp/Chemical_CD/
化学物質による意図的な水源汚染を題材としたシナリオや演習の進め方についてのガイドが掲載されている。このサイトにはこの他、化学物質による緊急時対処のためのさまざまな資料が掲載されている。

(2)-6 緊急時対応の演習プログラム（英国健康保護庁、HPA）
The Emergency Response Division Exercise Programme
http://www.hpa.org.uk/hpa/erd/erd_exercises.htm
HPAのERD（緊急対応部、Emergency Response Division）は、地域の保健担当部局における緊急時対応の準備状況をテストするために随時演習を行っている。主たる目的は、それぞれの演習テーマの事案に関わる関係機関の連携及びその中での医療担当部署・医療機関の役割及び対応についての演習である。 これまでに下記の演習が実施された。それぞれの演習について、目的、成果、参加した関係機関などの概要ファイルが掲載されている。詳しいシナリオ等は掲載されていない。 ・ 事故による塩素流出（2006年6月29日） ガソリンタンク車と塩素タンク車の衝突事故による塩素ガス流出事故対処に関する机

上演習。メディアを通じた一般への健康アドバイスや模擬プレスコンファランスも含まれる。

- ・ 洪水 (2006 年 3 月 23 日)
- ・ 熱波 (2006 年 3 月 9 日)
- ・ インフルエンザ大流行 (2005 年 10 月 28 日)
- ・ 故意の放出 (2004 年 10 月 18 日)
化学剤、生物剤、放射性物質、核 (CBRN) の放出 (特に人混みの中での生物剤汚染) への対処に関する机上演習。
- ・ インフルエンザ大流行 (2005 年 9 月 21 日)
- ・ インフルエンザ大流行 (2005 年 6 月 23 日)
- ・ 大量治療 (2005 年 6 月 16,17 日)
意図的な生物剤放出時を想定した大人数 (平日、1,000 人以上) への抗生物質治療の演習。準備体制の立ち上げや備蓄医薬品の入手なども含まれる。
- ・ ウェストナイルウィルス (2005 年 3 月 8 日)
- ・ 放射性物質の放出 (2005 年 1 月 28 日)
- ・ SARS 演習 (2004 年 5 月 21 日)
- ・ 化学剤・生物剤の意図的放出 (2004 年 4 月 28 日)
野外演習と机上演習 (コマンドポスト) の組み合わせ。野外演習では、救急車や消防車などで搬送された被害者や自分で病院に行った被害者などの除染なども含まれる。
この演習については、非常に詳しい報告書が収載されている。
- ・ ダーティボムによるテロ (2004 年 1 月 23 日)
- ・ 塩素ガスによるテロ (2003 年 10 月 10 日)
- ・ 天然痘演習 (2003 年 7 月 7 日)
- ・ SARS 演習 (2003 年 6 月 6 日)
- ・ 天然痘演習 (2003 年 3 月 24 日)

(2)-7 生物テロ対応に関する机上演習 (ピッツバーグ大学バイオセキュリティセンター)

Scenarios

<http://www.upmc-biosecurity.org/website/resources/scenarios/index.html>

生物テロに関する机上演習としてよく知られている 2 つの演習 (国レベルでの対応) が詳細な資料と共に掲載されている。

- ・ Atlantic Storm (January 14, 2005)

<http://www.atlantic-storm.org/>

2005 年 1 月にワシントン DC で開かれた生物テロの机上演習。環大西洋国の首脳や国際機関が集まる会議開催時期に生物テロが発生したことを想定しており、過去に閣僚や大使等を勤めた人達が米国大統領や国際機関、米、EU、英、仏、独、オランダ、イタリア、カ

ナダ、スウェーデン、ポーランド等の要人に扮し、生物テロに対する国としての意思決定について演習を行った。天然痘ウイルスがいくつかの国の主要都市の空港、地下鉄、駅、グランバザールなどに撒かれ、各国首脳が対応を協議、特に備蓄しているワクチンを自国以外にいかにか提供するかどうかの議論等がなされた。

このサイトには、演習資料、報告書、記録、記者発表記事、BBC ニュースビデオなどさまざまな資料が掲載されている。

・ Dark Winter (June 22-23, 2001)

http://www.upmc-biosecurity.org/website/events/2001_darkwinter/index.html

2001年6月22～23日に行われた天然痘ウイルスによる生物テロについての机上演習。14日間にわたる国家安全保障会議での国の対応について検討している。内容についての各種資料がこのサイトからダウンロードできる。

(3) 化学災害、海洋汚染などに関する情報

(3)-1 CSB (米国化学物質安全性・有害性調査委員会)

Chemical Safety and Hazard Investigation Board

<http://www.csb.gov/>

米国で発生した化学災害等の化学物質事故について、ニュース(ビデオやDVDも含む)、報告システム、現在調査中の事故、調査が完了した事故の調査報告などが一元的にまとめられている。主に化学工場等における火災・爆発事故についての情報が多い。

(3)-2 災害事例 (UNEP: 国連環境計画)

Disasters (APELL: Awareness and Preparedness for Emergencies on a Local Level, UNEP)

<http://www.uneptie.org/PC/apell/disasters/disasters.html>

UNEPのAPELL部門が、災害の防止及び対応計画策定のために事故や自然災害の情報を収集し報告している。現時点で、ナイジェリアのパイプライン爆発事故、インドネシアの火山噴火、アジアの津波、中国のガス田噴出、フランス・トゥルーズの硝酸アンモニウム爆発など12例の報告が掲載されている。また、最近の事故事例や輸送事故事例のリスト、災害データベースなどが掲載されている。

(3)-3 緊急時対応 (NOAA 国立海洋大気庁)
Emergency Response
http://response.restoration.noaa.gov/index.php
<p>海洋における油及び化学物質の流出事故に対する対応及び被害評価に関する情報のポータルサイト。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NOAA の緊急時対応プログラム ハリケーン・カトリーナへの各部署の対応などがまとめられている。 ・ 油流出への対応 海岸の環境における効果的で安全な対応についての情報。1989 年にアラスカ沖で原油が大量に流出したエクソン・バルディーズ号に関する資料 (ダウンロード可) や文献リストがまとめて掲載されている Exxon Valdez Resources Library もある。 ・ 化学物質の流出 対応、専門家のトレーニングなどの情報。 ・ 環境保護計画 油や化学物質の流出に対し環境をまもるための情報。 ・ 環境影響評価 ・ 最近及び過去の大事故に関する情報

(4) 自治体その他の関連情報

(4)-1 公衆衛生における緊急時のための準備 (ニューヨーク市保健精神衛生局)
Public Health Emergency Preparedness (The New York City Department of Health and Mental Hygiene)
http://www.nyc.gov/html/doh/html/browse/browse-emergency.shtml
<p>掲載内容は、ABC 順目次 (A~Z)、もしくはトピック内容別リストからアクセスできる。トピック内容別リストには、化学物質(C)、生物剤(B)、放射性物質(R)の準備に関する情報やファクトシート、精神衛生上の被害における準備と対応、テロと精神衛生ファクトシート、医療関係者向け情報などが掲載されている。</p> <p>この他、除染、個人防護衣、大量ワクチン投与、隔離等に関する資料や、全市レベルで行われた新型インフルエンザ対応訓練資料などが掲載されている。</p>

(4)-2 公衆衛生における緊急時のための準備 (ワシントン州保健局)
Public Health Emergency Preparedness (Washington State Department of Health)
http://www.doh.wa.gov/phepr/default.htm

一般向け情報 (General Information) 及び医療関係者向け情報、地方担当部局向け情報に分けて、掲載されている (内容は重複する場合もある)。新型インフルエンザや生物剤に関する情報が多い。

Emergency Resource Guide (全44ページのpdf) には、緊急時における個人レベルでの対応準備、テロ、自然災害、感染症など、項目ごとに詳細な解説が掲載されている。

(http://www.doh.wa.gov/phepr/handbook/hbk_pdf/Emer_Res_Guide07.pdf)

(4)-3 バイオセキュリティセンター (ピッツバーグ大学メディカルセンター)

Center for Biosecurity

<http://www.upmc-biosecurity.org/>

バイオセキュリティに関するさまざまな情報 (臨床医ネットワークや学術雑誌も含む) が掲載されている。

主な掲載内容

- ・各生物剤やトピック等に関する情報
- ・Biosecurity and Bioterrorism (学術雑誌)
- ・Clinicians' Biosecurity Network (臨床医ネットワーク)
- ・最新のニュース (CBN Report Archive by Topic)

疾病や生物剤等、鳥インフルエンザ、対処法、政策、病院の準備、公衆衛生、治療法など分野ごとに最新ニュース掲載

表1 緊急時の対応に関する情報サイト

対応に関するマニュアル等の情報			
機関	情報	概要	URL
英国首相官邸の災害関連ポータルサイト(UK Resilience)			http://www.ukresilience.info/
	化学剤・生物剤・放射性・核物質(CBIRN)に暴露された場合の除染に関する国のガイド	CBIRN暴露時の対応にあたる救急要員、消防、警察、行政、地方担当部局などの関係者を対象とし除染(大量除染を含む)、群衆行動などをまとめたガイド。	http://www.ukresilience.info/upload/assets/www.ukresilience.info/peoplecbrrn.pdf
HPA(英国健康保護庁)			http://www.hpa.org.uk/default.htm
	化学剤の意図的使用時の対応情報(担当者向け)	神経剤、マスタードガス、シアン化水素、塩素、ホスゲン、硝酸アンモニウム、リン曝露時の対応マニュアル(トリアージ、除染、治療法など)	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/deliberate_release/chemicals/chemical_homepage.htm
	通常と異なる疾病発生時の対応のための初期調査に関する担当者向けガイド	通常予測できる状況と異なる症状や患者数、あるいは原因不明や診断できない疾病が発生した際の対応ガイド。救急要員、医師、労働衛生関係者、各地の分析機関、公衆衛生担当者など対象ユーザーごとにまとめられたガイド。	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/deliberate_release/Unkown/unusual_illness.pdf
	化学物質による事故/事件発生時の診断及び早期管理	被災者の状況から判断しながらとるべき措置を選択していく診断アルゴリズム。例えば最初の設問は、「シアン化合物によるものか」で、ボックスの中にシアン化中毒に典型的な症状や発現する速度などの説明が記載されている。この設問に対して、「Yes」であれば、シアン化合物についての項目(解毒剤などの情報)に進み、「No」であれば次の設問「神経剤もしくは有機リン化合物の可能性はあるか?」に進む。	http://www.hpa.org.uk/emergency/pdfs/chemical.pdf
	緊急時の臨床状況によるアルゴリズム	通常と異なる疾病が発生した場合に、感染症か、それとも化学物質によるものかなどの判断を緊急時の臨床的状況から進めていくアルゴリズム。除染、検体採取など対応全般について取載されている。	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/deliberate_release/pdf/Emergency_Clin_Algorithm.pdf
CDC(米国疾病管理予防センター)緊急時対応サイト			http://www.bt.cdc.gov/

化学物質による中毒時の症例定義	化学物質や有毒化学物質への曝露が疑われる場合の症例定義(臨床状況、診断基準、症例分類)	http://www.bt.cdc.gov/chemical/casedef.asp
公衆衛生: 緊急時対応情報		http://www.doh.wa.gov/
一般市民向けファクトシート	英語、スペイン語、韓国語、中国語その他各国語で提供されている。緊急時のために家庭で準備すること、緊急用の備品リスト、中毒、感染症、テロ、生物剤、化学剤、自然災害など。	http://www.doh.wa.gov/phepr/factsheets.htm
生物テロ対処	炭疽、ボツリヌス、肺ペスト、天然痘について兆候や症状、潜伏期間、一人感染の有無、隔離の必要性、診断、治療法を簡潔にまとめた表、除染、アウトブレイクの察知についての情報	http://www.doh.wa.gov/hsqa/emstrauma/download/bioterroragentchart.pdf
生物テロ対処のための重要な10のステップ	通常と異なる症状を示す集団(cluster)がみられた場合に疑われる生物剤を検討(第1ステップ)、担当者の個人防護やワクチンの準備(第2ステップ)から疫学調査(第9ステップ)、情報伝達(第10ステップ)まで、対処のための重要な方策を10段階に分けて示した表	http://www.doh.wa.gov/hsqa/emstrauma/download/criticalstepsforbioterrorism.pdf
大量死傷者発生時の対処プロトコル	化学剤(催涙剤、トウガラシスプレー、塩素、アンモニア、クロロピクリン、マスタード類など)、放射性物質・核、爆発物などによる大量死傷者発生時の対応のための情報	http://www.doh.wa.gov/hsqa/emstrauma/download/allhazprot.pdf
ニューヨーク市保健精神衛生局		http://www.nyc.gov/html/doh/html/home/home.shtml
化学物質に汚染された患者の除染及びトリアージ	有害化学物質に多数の人が曝露した場合の除染及びトリアージに関する対処マニュアル。化学物質に汚染された可能性がある患者が自分で医療機関にきた場合、あるいは救急車で搬送されてきた場合の除染や各ユニット責任者のための対処チェックリストなど。	http://www.ci.nyc.ny.us/html/doh/downloads/pdf/bhppspp-focus-chem-medsys-decon.pdf
米国ATSDR(有害物質疾病登録局)		http://www.atsdr.cdc.gov/
化学物質が特定されていない場合の医療関係者等向けガイドライン	事故発生時の原因物質が特定されていない段階における被害者の移送、関係者の保護具、ゾーンニング、除染などについて対処マニュアル。	http://www.atsdr.cdc.gov/MHMI/mmg170.html

医療情報(治療、解毒剤、症状などに関する情報)			
機関	提供情報	概要	URL
EMEA(欧州医薬品庁)			http://www.emea.europa.eu/home.htm
	化学剤への曝露時のための治療薬ガイド ンス	化学テロに使用され得る化学剤のための治療薬ガイド ダンス。びらん剤、神経剤、シアン化合物、窒息剤、 無能力化剤、催涙剤、リシン、アプリンなどに曝露した 場合の治療薬の種類や用量など掲載。	http://www.emea.europa.eu/pdfs/human/chemicalterrorism/125503en.pdf
	生物剤のための治療薬ガイド	生物テロに使用され得る生物剤のための治療薬ガイ ダンス。炭疽(吸入、皮膚)、ペスト、野兔病、天然痘、 ウイルス性出血熱、ボツリヌス、ブルセラ症などに罹 患した場合の治療薬、抗毒素などや用量など掲載。	http://www.emea.europa.eu/htms/human/bioterror/bioterror.htm
HPA(英国健康保護庁)			http://www.hpa.org.uk/default.htm
	化学剤の意図的使用時の対処情報(担当者向け)	神経剤、マスタードガス、シアン化水素、塩素、ホスゲ ン、硝酸アンモニウム、リシン曝露時の対処マニユア ル(トリアージ、除染、治療法など)	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/deliberate_release/chemicals/chemical_homepage.htm
	緊急時の臨床対応アルゴリズム	临床上通常と異なる状況がみられる場合に、状況に 応じて対処法をばりこんでいくスキーム掲載。	http://www.hpa.org.uk/infections/topics_az/deliberate_release/pdf/Emergency_Clin_Algorithm.pdf
米国ワシントン州保健局			http://www.doh.wa.gov/
	公衆衛生:緊急時対応情報		
	化学剤対処	神経剤、シアン化合物、びらん剤、窒息剤、暴動鎮圧 剤ごとに症状と治療法を簡潔に記載した表	http://www.doh.wa.gov/hsqa/emstrauma/download/chemagentchart.pdf
	生物剤対処	炭疽、コレラ、ペスト、野兔病、Q熱、天然痘、ウイルス 性脳炎、ウイルス性出血熱、ボツリヌス、黄色ブドウ球 菌毒素B、リシン、T-2トキシンについての診断方法や 治療法	http://www.doh.wa.gov/hsqa/emstrauma/download/bioagentchart.pdf
	生物テロ対処	炭疽、ボツリヌス、肺ペスト、天然痘について兆候や 症状、潜伏期間、一人感染の有無、隔離の必要 性、診断、治療法を簡潔にまとめた表、除染、アウト ブレイクの察知についての情報	http://www.doh.wa.gov/hsqa/emstrauma/download/bioterroragentchart.pdf

(表) CISMefのメタターム一覧

(検索結果の項の数字は該当のメタタームに含まれるウェブサイトの数を示す)



Liste des méta termes de Doc'CISMef

Terme	Nombre de résultats	Lien PubMed
<u>acupuncture</u>	16	PubMed
<u>addictologie</u>	1172	PubMed
<u>affaires sociales</u>	795	PubMed
<u>allergologie et immunologie</u>	3214	PubMed
<u>anatomie</u>	1261	PubMed
<u>anatomie pathologique</u>	521	PubMed
<u>anesthésiologie</u>	355	PubMed
<u>angiologie</u>	4306	PubMed
<u>bactériologie</u>	2291	PubMed
<u>biochimie</u>	110	PubMed
<u>biologie cellulaire</u>	146	PubMed
<u>biologie et médecine du développement</u>	812	PubMed
<u>biologie moléculaire</u>	49	PubMed
<u>biophysique</u>	160	PubMed
<u>cancérologie</u>	4671	PubMed
<u>carcinologie</u>	4671	PubMed
<u>cardiologie</u>	4306	PubMed
<u>chirurgie</u>	4073	PubMed
<u>chirurgie orthopédique</u>	283	PubMed
<u>chirurgie plastique reconstructrice et esthétique</u>	84	PubMed
<u>chirurgie thoracique et cardiovasculaire</u>	200	PubMed
<u>cytologie</u>	1353	PubMed

資料4 CISMefのメタターム一覧(平成19年度分担研究報告(野添篤毅他)より)

<u>dentisterie</u>	992	PubMed
<u>dermatologie</u>	2182	PubMed
<u>diagnostic</u>	11704	PubMed
<u>diagnostic par imagerie</u>	1948	PubMed
<u>droit de la santé</u>	1217	PubMed
<u>économie</u>	2305	PubMed
<u>embryologie</u>	414	PubMed
<u>endocrinologie</u>	1820	PubMed
<u>enseignement et éducation</u>	12584	PubMed
<u>environnement et santé publique</u>	8026	PubMed
<u>épidémiologie</u>	8251	PubMed
<u>éthique</u>	574	PubMed
<u>foetologie</u>	611	PubMed
<u>gastroentérologie</u>	3159	PubMed
<u>génétique</u>	3749	PubMed
<u>génie biomédical</u>	18	PubMed
<u>gériatrie</u>	1102	PubMed
<u>gestion du risque</u>	3163	PubMed
<u>gynécologie</u>	2579	PubMed
<u>handicap</u>	1325	PubMed
<u>hématologie</u>	2417	PubMed
<u>hémobiologie-transfusion</u>	116	PubMed
<u>hépatologie</u>	798	PubMed
<u>histoire</u>	488	PubMed
<u>histologie</u>	1393	PubMed
<u>homéopathie</u>	13	PubMed
<u>infectiologie</u>	6098	PubMed
<u>informatique médicale</u>	531	PubMed
<u>kinésithérapie & physiothérapie</u>	316	PubMed
<u>médecine aérospatiale</u>	28	PubMed
<u>médecine du sommeil</u>	215	PubMed
<u>médecine et chirurgie vasculaire</u>	2354	PubMed
<u>médecine fondée sur des faits</u>	3187	PubMed
<u>médecine générale</u>	342	PubMed
<u>médecine humanitaire</u>	59	PubMed

資料4 CISMefのメタターム一覧（平成19年度分担研究報告（野添篤毅他）より）

<u>médecine interne</u>	1486	PubMed
<u>médecine légale</u>	498	PubMed
<u>médecine militaire</u>	117	PubMed
<u>médecine nucléaire</u>	398	PubMed
<u>médecine parallèle</u>	165	PubMed
<u>médecine physique et de réadaptation</u>	850	PubMed
<u>médecine préventive</u>	6861	PubMed
<u>médecine reproduction</u>	2936	PubMed
<u>médecine sport</u>	325	PubMed
<u>médecine thermale</u>	14	PubMed
<u>médecine travail</u>	1570	PubMed
<u>médecine tropicale</u>	267	PubMed
<u>médecine urgence</u>	842	PubMed
<u>médecine vétérinaire</u>	586	PubMed
<u>métabolisme</u>	2644	PubMed
<u>microbiologie</u>	417	PubMed
<u>mycologie</u>	451	PubMed
<u>néonatalogie</u>	893	PubMed
<u>néphrologie</u>	1015	PubMed
<u>neurochirurgie</u>	75	PubMed
<u>neurologie</u>	7935	PubMed
<u>nutrition</u>	2577	PubMed
<u>obstétrique</u>	2472	PubMed
<u>ophtalmologie</u>	1350	PubMed
<u>organisation et administration</u>	3552	PubMed
<u>orthophonie</u>	26	PubMed
<u>orthoptie</u>	12	PubMed
<u>otorhinolaryngologie</u>	1071	PubMed
<u>parasitologie</u>	806	PubMed
<u>pédiatrie</u>	7317	PubMed
<u>pharmacie</u>	22276	PubMed
<u>pharmacologie</u>	16886	PubMed
<u>physiologie</u>	6632	PubMed
<u>phytothérapie</u>	151	PubMed
<u>pneumologie</u>	2605	PubMed

<u>podologie</u>	249	PubMed
<u>psychiatrie</u>	3237	PubMed
<u>réanimation médicale et chirurgicale</u>	197	PubMed
<u>rhumatologie</u>	3526	PubMed
<u>sciences information</u>	4240	PubMed
<u>sénologie</u>	434	PubMed
<u>soins infirmiers</u>	412	PubMed
<u>soins palliatifs</u>	238	PubMed
<u>statistique</u>	6636	PubMed
<u>stomatologie et chirurgie maxillofaciale</u>	64	PubMed
<u>thérapeutique</u>	16685	PubMed
<u>toxicologie</u>	9452	PubMed
<u>transmission maladie</u>	1016	PubMed
<u>transplantation</u>	295	PubMed
<u>traumatologie</u>	1372	PubMed
<u>urologie</u>	2036	PubMed
<u>virologie</u>	2339	PubMed

図 1 危険源推定ツール(入力画面)

健康被害発生連絡票																	
通報受理者	所属 _____ 氏名 _____																
通報受理日時	平成 ____年 ____月 ____日 ____時 ____分																
通報者	氏名 _____ 電話番号 _____ <small>通報者の属性 医療機関・警察・消防・事業所・参加者・近所の者・通りがかりの者・その他()</small>																
発生日時	平成 ____年 ____月 ____日 ____時 ____分 (頃・推定・調査中・不明)																
発生場所	<input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 屋内 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園 <input type="checkbox"/> 老人ホーム・老人施設 その他() <input type="checkbox"/> 化学工場など その他() 広範囲(住所地) _____ 市 _____ 付近) <input type="checkbox"/> 行事 () 主催者() 参加者の種類() 人数()人																
被害の状況	被害者数 _____ 推定・約 名 <input type="checkbox"/> 死亡あり(死亡 名・重症 名) 男()名・女()名 不明 混乱の有無 _____ 有・無 _____ 拡大状況 _____ 急速拡大・拡大																
症状の種類	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">客観症状</td> <td>全身</td> <td><input type="checkbox"/>意識障害 <input type="checkbox"/>発熱 <input type="checkbox"/>発汗 <input type="checkbox"/>出血傾向 <input type="checkbox"/>発疹 <input type="checkbox"/>紅斑 <input type="checkbox"/>皮膚粘膜の出血</td> </tr> <tr> <td>神経</td> <td><input type="checkbox"/>運動障害 <input type="checkbox"/>けいれん <input type="checkbox"/>精神症状 <input type="checkbox"/>痙攣 <input type="checkbox"/>痲痺 <input type="checkbox"/>眩暈 <input type="checkbox"/>めまい <input type="checkbox"/>失禁 <input type="checkbox"/>失声</td> </tr> <tr> <td>呼吸</td> <td><input type="checkbox"/>呼吸障害 <input type="checkbox"/>咳 <input type="checkbox"/>しゃがみ声 <input type="checkbox"/>鼻水 <input type="checkbox"/>口腔内出血 <input type="checkbox"/>呼吸アルコール臭 <input type="checkbox"/>呼吸からし臭 <input type="checkbox"/>呼吸二酸化臭 <input type="checkbox"/>呼吸アモニ臭 <input type="checkbox"/>呼吸硫黄臭 <input type="checkbox"/>呼吸ほし臭</td> </tr> <tr> <td>消化</td> <td><input type="checkbox"/>嘔吐 <input type="checkbox"/>よだれ <input type="checkbox"/>吐血 <input type="checkbox"/>下痢 <input type="checkbox"/>血便 <input type="checkbox"/>黄疸</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td><input type="checkbox"/>顔面蒼白・手足冷感 <input type="checkbox"/>除脈 <input type="checkbox"/>頻脈 <input type="checkbox"/>不整脈 <input type="checkbox"/>リウマチ節の腫れ <input type="checkbox"/>血尿</td> </tr> <tr> <td>主観症状</td> <td><input type="checkbox"/>頭痛 <input type="checkbox"/>目の痛み <input type="checkbox"/>喉の痛み <input type="checkbox"/>胸痛 <input type="checkbox"/>腰痛 <input type="checkbox"/>筋肉痛 <input type="checkbox"/>口渇 <input type="checkbox"/>悪心 <input type="checkbox"/>動悸 <input type="checkbox"/>視力障害 <input type="checkbox"/>不眠 <input type="checkbox"/>痺痺 <input type="checkbox"/>めまい <input type="checkbox"/>耳鳴り <input type="checkbox"/>関節痛 <input type="checkbox"/>全身の痛み <input type="checkbox"/>倦怠感 <input type="checkbox"/>脱力感</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>外傷・熱傷</td> </tr> </table>	客観症状	全身	<input type="checkbox"/> 意識障害 <input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 発汗 <input type="checkbox"/> 出血傾向 <input type="checkbox"/> 発疹 <input type="checkbox"/> 紅斑 <input type="checkbox"/> 皮膚粘膜の出血	神経	<input type="checkbox"/> 運動障害 <input type="checkbox"/> けいれん <input type="checkbox"/> 精神症状 <input type="checkbox"/> 痙攣 <input type="checkbox"/> 痲痺 <input type="checkbox"/> 眩暈 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 失禁 <input type="checkbox"/> 失声	呼吸	<input type="checkbox"/> 呼吸障害 <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> しゃがみ声 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 口腔内出血 <input type="checkbox"/> 呼吸アルコール臭 <input type="checkbox"/> 呼吸からし臭 <input type="checkbox"/> 呼吸二酸化臭 <input type="checkbox"/> 呼吸アモニ臭 <input type="checkbox"/> 呼吸硫黄臭 <input type="checkbox"/> 呼吸ほし臭	消化	<input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> よだれ <input type="checkbox"/> 吐血 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 血便 <input type="checkbox"/> 黄疸		その他	<input type="checkbox"/> 顔面蒼白・手足冷感 <input type="checkbox"/> 除脈 <input type="checkbox"/> 頻脈 <input type="checkbox"/> 不整脈 <input type="checkbox"/> リウマチ節の腫れ <input type="checkbox"/> 血尿	主観症状	<input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 目の痛み <input type="checkbox"/> 喉の痛み <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 腰痛 <input type="checkbox"/> 筋肉痛 <input type="checkbox"/> 口渇 <input type="checkbox"/> 悪心 <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 視力障害 <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> 痺痺 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 耳鳴り <input type="checkbox"/> 関節痛 <input type="checkbox"/> 全身の痛み <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 脱力感	備考	外傷・熱傷
客観症状	全身		<input type="checkbox"/> 意識障害 <input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 発汗 <input type="checkbox"/> 出血傾向 <input type="checkbox"/> 発疹 <input type="checkbox"/> 紅斑 <input type="checkbox"/> 皮膚粘膜の出血														
	神経		<input type="checkbox"/> 運動障害 <input type="checkbox"/> けいれん <input type="checkbox"/> 精神症状 <input type="checkbox"/> 痙攣 <input type="checkbox"/> 痲痺 <input type="checkbox"/> 眩暈 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 失禁 <input type="checkbox"/> 失声														
	呼吸		<input type="checkbox"/> 呼吸障害 <input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> しゃがみ声 <input type="checkbox"/> 鼻水 <input type="checkbox"/> 口腔内出血 <input type="checkbox"/> 呼吸アルコール臭 <input type="checkbox"/> 呼吸からし臭 <input type="checkbox"/> 呼吸二酸化臭 <input type="checkbox"/> 呼吸アモニ臭 <input type="checkbox"/> 呼吸硫黄臭 <input type="checkbox"/> 呼吸ほし臭														
	消化	<input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> よだれ <input type="checkbox"/> 吐血 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> 血便 <input type="checkbox"/> 黄疸															
	その他	<input type="checkbox"/> 顔面蒼白・手足冷感 <input type="checkbox"/> 除脈 <input type="checkbox"/> 頻脈 <input type="checkbox"/> 不整脈 <input type="checkbox"/> リウマチ節の腫れ <input type="checkbox"/> 血尿															
主観症状	<input type="checkbox"/> 頭痛 <input type="checkbox"/> 目の痛み <input type="checkbox"/> 喉の痛み <input type="checkbox"/> 胸痛 <input type="checkbox"/> 腰痛 <input type="checkbox"/> 筋肉痛 <input type="checkbox"/> 口渇 <input type="checkbox"/> 悪心 <input type="checkbox"/> 動悸 <input type="checkbox"/> 視力障害 <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> 痺痺 <input type="checkbox"/> めまい <input type="checkbox"/> 耳鳴り <input type="checkbox"/> 関節痛 <input type="checkbox"/> 全身の痛み <input type="checkbox"/> 倦怠感 <input type="checkbox"/> 脱力感																
備考	外傷・熱傷																
他の通報先	警察・消防・保健所・その他()																
搬送の状況	搬送先 (有・無) _____ 所在地() _____ 施設名() _____																
被害者に共通する行動	<input type="checkbox"/> 被害者に共通な空間 (同じ部屋・建物・その他) _____ <input type="checkbox"/> 被害者に共通する飲食物あり <input type="checkbox"/> 被害者に海外渡航歴あり <input type="checkbox"/> 共通に接触した動物 (動物・鳥・昆虫・魚類) _____ <input type="checkbox"/> 共通な入浴・水泳あり																
周辺の状況	気象状況(天候・風向きなど) <input type="checkbox"/> 小動物の異常あり (小鳥・飼育犬・猫・蛙・ザリガニ・魚等) _____ <input type="checkbox"/> 植物の異常あり (葉の変色・枯れ等) _____ <input type="checkbox"/> 河川氷の異常あり (にごり・色・におい等) _____ <input type="checkbox"/> 不明なガスや臭気あり (_____ 色のガス _____ のような臭い) _____ <input type="checkbox"/> 不明な化学物質あり (液状・油状・粉状・粒状・色 _____ 量 _____)																
検体の状況	警察確保(便・尿・吐物・血液・食品・水・魚・その他) 保健所確保(便・尿・吐物・血液・食品・水・魚・その他) 確保不能																
通報者が推定する危機の種類	感染症疑・食中毒疑・毒劇物疑・犯罪・テロ・事故・自然災害																
備考																	

印刷プレビュー

メンテナンスモード 終了

原因推定メニュー

症状から原因推定

チェックをクリア

複数データを総合して入力

詳細入力フォーム

図2 危険源推定ツール(出力画面)

病因の推定結果	さらに必要な情報	
	補強データ	否定データ
グルホシネート		
カーバメイト		
タマン	・眩暈なし・呼吸障害あり・発疹あり	・眩暈あり
サリン	・眩暈なし・呼吸障害あり・発疹あり	・眩暈あり
シマン	・眩暈なし・呼吸障害あり・発疹あり	・眩暈あり
経口催眠剤		
経口鎮痛剤	・眩暈なし・発疹あり	・眩暈あり
バルビタール	・呼吸障害あり	
経口血糖降下薬		
バラコート		
シアン化合物	・呼吸障害あり ・アモニウム臭あり ・海外渡航歴あり ・皮膚粘膜の出血あり ・リンパ節腫脹あり	・共通会感取りあり
ベスト	・呼吸障害あり ・アモニウム臭あり	
シアン化水素	・ニトリウム臭あり	
ヒ素		
テロトキシシン		
ルイサイト(有機ヒ素化合物)	・セラニウム臭あり	
野兔病	・リンパ節腫脹あり	
ボツリヌス		
ブルセラ	・リンパ節腫脹あり ・海外渡航歴あり ・口腔内出血あり ・皮膚粘膜の出血あり	
マールブルグ		
砒化水素		
黄熱	・海外渡航歴あり	・共通会感取りあり
炭疽	・発疹あり	
二硫化炭素		
天然痘	・発疹あり	
マスタードガス	・からし臭あり	
ベンゾジアゼピン	・呼吸障害あり	
鼻疽・類鼻疽	・リンパ節腫脹あり	
リシン		

印刷プレビュー

終了

再検索

受取表に記入

フォームに記入

【推定結果の見方】

症状情報 信頼度 周辺情報

高	強調文字
↑	通常文字
↓	灰色文字
低	取消線

特徴的な症状が少ない物質は網掛けで表示します